

島根大学医学部附属病院を受診した患者さんへ

「CAEBV を含めた EBV 関連 NK/T 細胞性リンパ増殖性疾患の臨床病理学的研究」の研究に使用する検体について

この研究では、島根大学医学部附属病院を受診し、手術・検査の際に採取し保存されている以下の試料

(情報)を使用します。

- 1) 期間：(平成 16) 2004 年 1 月から (平成 27) 2016 年 12 月
 - 2) 受診科：腫瘍・血液内科 または 複数科にわたるもの
 - 3) 対象疾患名：慢性活動性 EB ウイルス感染症、Aggressive NK/T cell leukemia、節外性 NK/T 細胞リンパ腫、EBV 陽性の末梢性 T 細胞性リンパ腫
 - 4) 使用する試料 (情報)：(血液、細胞、組織、診療情報等)
-

あなたの試料を今後の医学の進歩のために研究に使用させていただきたくお願い申し上げます。研究の内容の詳細は 2 ページ目以降のとおりです。2 ページ目以降は、主たる研究施設である久留米大学のホームページで公開されている患者さん向け文書です。

研究内容をよくお読みになり、もし研究にご協力いただけない場合は、お手数ですが下記の連絡先までご連絡ください。

研究内容に関するお問い合わせは、久留米大学に連絡を取られても構いません。

研究ご協力の撤回受付は研究成果の公表前までとなります。

ご了承いただけますよう、お願い申し上げます。

島根大学研究担当者：

腫瘍・血液内科 准教授 鈴木律朗

〒693-8501

出雲市塩冶町 89-1

島根大学医学部附属病院 腫瘍・血液内科

(TEL) 0853-20-2517 (FAX) 0853-20-2525

久留米大学を受診した患者さんへ

「CAEBV を含めた EBV 関連 NK/T 細胞性リンパ増殖性疾患の臨床病理学的研究」の研究に使用する検体について

この研究では、久留米大学を受診し、手術・検査の際に採取し保存されている以下の試料(情報)を使用します。

- 1) 期間：(平成 16) 2004 年 1 月から (平成 27) 2016 年 12 月
 - 2) 受診科：血液内科 または 複数科にわたるもの
 - 3) 対象疾患名：慢性活動性 EB ウイルス感染症、Aggressive NK/T cell leukemia、節外性 NK/T 細胞リンパ腫、EBV 陽性の末梢性 T 細胞性リンパ腫
 - 4) 使用する試料(情報)：(血液、細胞、組織、診療情報等)
-

あなたの試料を今後の医学の進歩のために研究に使用させていただきたくお願い申し上げます。研究の内容の詳細は以下のとおりです。

研究内容をよくお読みになり、もし研究にご協力いただけない場合は、お手数ですが下記の連絡先までご連絡ください。

研究ご協力の撤回受付は研究成果の公表前までとなります。

ご了承いただけますよう、お願い申し上げます。

- 1) 研究組織：所属：病理学教室

研究代表者：職名 教授 氏名 大島孝一

研究分担者：職名 講師 氏名 三好寛明

職名 大学院生 氏名 河本啓介

2) 研究の意義と目的：慢性活動性 EB ウイルス感染症 (CAEBV) や EBV 関連 NK/T 細胞性リンパ増殖性疾患 (EBV NK/T LPD) は日本や東アジアに多く、欧米では少ないとされています。慢性活動性 EB ウイルス感染症 (CAEBV) や EBV 関連 NK/T 細胞性リンパ増殖性疾患 (EBV NK/T LPD) は非常にまれな疾患で治療成績が不良といわれていますが、臨床病理学的な特徴についてはよくわかっていません。これらの臨床データ、病理データを統合して解析することで臨床的な特徴などを解明し、遺伝子学的な検査により正確な診断や新規治療法の開発をおこなうことができます。

3) 研究の方法：多数の慢性活動性 EB ウイルス感染症 (CAEBV) や EBV 関連 NK/T 細胞性リンパ増殖性疾患 (EBV NK/T LPD) と診断された患者さんの臨床検査データ、病理学的検査を統合し、解析をすることで臨床病理学的特徴を解明します。その特徴をもとに腫瘍細胞の遺伝子学的な検査をおこない、新規治療法につながるような病態解明をおこないます。

- 4) 研究期間：平成 28 年 6 月倫理委員会承認後～平成 33 年 5 月 30 日

5) 上記の試料（情報）の使用を選定した理由：臨床病理的な特徴を解析し、さらにそれに基づいた腫瘍細胞の遺伝子学的な検査をおこないたいと考えているからです。

6) プライバシー保護・人権保護・倫理的配慮について：個人情報の特定になるような情報は匿名化をおこない、本研究は、ヘルシンキ宣言に基づく倫理的原則を遵守し、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」に従って実施します。

7) 研究成果の発表の方法：明らかになった結果は学会発表や論文発表をおこないたいと考えています。

8) 利益相反：本研究は特定企業からの資金援助はありません

9) 事務局、問い合わせ、連絡先：

大島孝一 病理学教室 教授

福岡県久留米市旭町 67 基礎一号館 5 階

(TEL) 0942-31-7547 (FAX) 0942-31-0342